

肉用子牛補給金システムにおける 事故率集計帳票利用マニュアル

公益社団法人北海道畜産物価格安定基金協会

< 目 次 >

1 事故率集計帳票機能の操作方法

- (1) 事故率集計帳票の入力方法 P 1
- (2) 全道平均の入力方法 P 3
- (3) 事故率集計帳票の出力方法 P 6

2 事故率集計帳票の見方

- (1) 事故率1 P 7
- (2) 事故率2の① P12
- (3) 事故率2の② P17

1 事故率集計帳票機能の操作方法

(1) 事故率集計帳票の入力方法

- ア 肉用子牛補給金システムを開きます。
- イ システムメニューの「1.個体管理」を選択します。

肉用子牛補給金システムメニュー 令和05年12月15日
HBA農業協同組合

システムメニュー

- 1. 個体管理
- 2. 組合員管理
- 3. オンライン処理
- 4. 更新処理
- 5. マスタ保守
- 6. 特殊処理
- 99. 終了

システムメニュー番号を入力してください: 機能メニュー番号を入力してください:



- ウ 機能メニューが開くので、「18.事故率集計帳票」を選択します。

肉用子牛補給金システムメニュー 令和05年12月15日
HBA農業協同組合

システムメニュー

- 1. 個体管理
- 2. 組合員管理
- 3. オンライン処理
- 4. 更新処理
- 5. マスタ保守
- 6. 特殊処理
- 99. 終了

1. 個体管理

- 1. 子牛登録入力
- 2. 登録申請書印刷
- 3. 登録申請確認入力
- 5. 子牛報告入力
- 6. 報告申請書印刷
- 7. 報告申請確認入力
- 8. 預託牛保留後報告入力
- 9. 子牛検索照会
- 11. アドインデータ作成
- 12. アドインデータ受入
- 14. 子牛一覧表
- 15. 子牛在庫表
- 16. 販売異動一覧表
- 17. 異動削除一覧表
- 18. 事故率集計帳票
- 99. 終了

システムメニュー番号を入力してください: 機能メニュー番号を入力してください:



エ 「事故率集計帳票出力」の画面になります。

令和05年12月15日
HBA農業協同組合

事故率集計帳票出力

年度 : 5 令和 05 0: 1~12月 1: 4~3月
 品種 :
 1: 黒毛 2: 褐毛 3: その他 4: 乳用 5: 交雑
 生産者 : 7001

全道平均事故率1	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全道平均事故率2の①	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全道平均事故率2の②	0ヶ月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出力帳票 : 0: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)一覧表
 1: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)集計表
 2: 生まれ月別事故率2の①一覧表(月別、生産者別、事務委託先別)
 3: 生まれ月別肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)一覧表
 4: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)<グラフ>
 5: 肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満)<グラフ>
 6: 肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)<グラフ>

F8:出力 F9:終了

オ 「事故率集計帳票出力」の画面に、必要な項目（年度・品種・生産者）を選択します。

令和05年12月15日
HBA農業協同組合

事故率集計

「令和5年度」の場合、ここに「5」と入力

「年次」の場合、 0: 1~12月にチェック

年度 : 5 令和 05 0: 1~12月 1: 4~3月
 品種 :
 1: 黒毛 2: 褐毛 3: その他 4: 乳用 5: 交雑
 生産者 : 7001

全道平均事故率1	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全道平均事故率2の①	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

全道平均事故率2の②	0ヶ月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出力帳票 : 0: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)一覧表
 1: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)集計表
 2: 生まれ月別事故率2の①一覧表(月別、生産者別、事務委託先別)
 3: 生まれ月別肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)一覧表
 4: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)<グラフ>
 5: 肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満)<グラフ>
 6: 肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)<グラフ>

F8:出力 F9:終了

【年度】 年度を入力します。

集計範囲を選択します。（年次または年度）

【品種】 出力する品種を選択します。

（指定しない場合は全ての品種が対象となります。）

【生産者】 出力する生産者を選択します。

（指定しない場合は全ての生産者が対象となります。）

カ 事故率の全道平均と比較する場合は、P3の「(2)全道平均の入力方法」へ。

事故率の全道平均を比較しない場合は、P6の「(3)事故率集計帳票の出力方法」へ（事務委託先平均との比較になります）。

(2) 全道平均の入力方法

ア 本協会のホームページを開きます。

<http://www.hokkaido-kikin.jp/>



下にスクロールする。



イ 「肉用子牛事故低減対策>事故率集計システム」を開きます。

ここをクリックする。



ウ 事故率集計データの画面が開きます。

肉用子牛事故低減対策

事故率集計データ

1. 子牛事故データの提供について [詳細を見る PDF](#)

2. 事故率の品種別全道平均(集計) ※令和5年12月11日更新

[R5年(事故率1、2-①、2-②)] : (年度 、 年次)
[R4年(事故率1、2-①、2-②)] : (年度 、 年次)
[R3年(事故率1、2-①、2-②)] : (年度 、 年次)

過去のデータはこちらをご覧ください。

(注1) 事故率1とは、当該月における事故牛の頭数と、当該月に申込をした頭数を比較したものです。
(注2) 事故率2の①とは、当該月における事故牛頭数と、当該月に飼養されている6カ月齢未満の登録申込頭数を比較したものです。
(注3) 事故率2の②とは、同じ生まれ月の子牛を対象として、0カ月齢から5カ月齢の各月齢における事故牛頭数と飼養されている頭数を比較したものです。

エ 「2.事故率の品種別全道平均（集計）」の活用したい「年度」または「年次」を選択します。

(例) 令和5年度の事故率を選択する場合

肉用子牛事故低減対策

事故率集計データ

1. 子牛事故データの提供について [詳細を見る PDF](#)

2. 事故率の品種別全道平均(集計) ※令和5年12月11日更新

[R5年(事故率1、2-①、2-②)] : (**年度** 、 年次)
[R4年(事故率1、2-①、2-②)] : (年度 、 年次)
[R3年(事故率1、2-①、2-②)] : (年度 、 年次)

過去のデータはこちらをご覧ください。

(注1) 事故率1とは、当該月における事故牛の頭数と、当該月に申込をした頭数を比較したものです。
(注2) 事故率2の①とは、当該月における事故牛頭数と、当該月に飼養されている6カ月齢未満の登録申込頭数を比較したものです。
(注3) 事故率2の②とは、同じ生まれ月の子牛を対象として、0カ月齢から5カ月齢の各月齢における事故牛頭数と飼養されている頭数を比較したものです。

ここをクリックする。

オ 「2.事故率の品種別全道平均（集計）」の活用したい「年度」または「年次」を選択すると、下記の表が出るので、印刷します。

(例) 令和5年度の乳用種の事故率を選択した場合

令和 05年12月11日時点

<04年度> (単位:%)

[黒毛]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故率1	2.6	3.0	2.8	3.3	3.8	4.1	4.3	4.4	3.5	4.6	4.7	3.6	3.7
事故率2-①	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6	0.7
事故率2-②	0.4	1.0	0.8	0.6	0.6	0.4							
	0か月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢							

[褐毛]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故率1	2.9	1.5	1.7	0.0	1.0	1.5	4.8	3.8	4.8	6.4	3.3	5.6	2.9
事故率2-①	0.0	0.3	0.2	0.2	0.0	0.5	0.9	0.0	1.3	0.8	0.8	0.6	0.5
事故率2-②	0.3	1.2	1.4	0.1	0.1	0.1							
	0か月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢							

[その他]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故率1	7.7	8.6	1.9	3.3	3.0	5.9	7.3	25.0	11.4	200.0	5.9	35.3	7.7
事故率2-①	0.7	1.7	1.3	0.3	1.5	0.8	0.8	1.9	1.7	2.2	1.9	5.1	1.5
事故率2-②	0.0	1.4	3.1	1.9	2.2	1.5							
	0か月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢							

[乳用]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故率1	5.2	4.1	3.7	3.8	4.2	4.6	5.7	4.8	6.3	7.0	7.2	4.9	5.1
事故率2-①	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.3	1.0	0.9	0.9
事故率2-②	0.8	0.9	0.8	1.0	0.8	0.7							
	0か月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢							

[交雑]	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故率1	3.9	3.4	3.4	3.0	3.3	4.0	4.3	3.9	5.4	6.6	5.9	4.8	4.3
事故率2-①	0.6	0.7	0.6	0.6	0.8	0.7	0.8	0.8	1.1	1.1	0.9	0.8	0.8
事故率2-②	0.7	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6							
	0か月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢							

カ 印刷した表から活用したい品種のデータを事故率集計帳票出力の「全道平均」に入力します。

(例) 令和5年度の乳用種の事故率を選択した場合

令和05年12月15日
HBA農業協同組合

事故率集計帳票出力

年度 : 5 令和 05 1 〇 0: 1~12月 ◎ 1: 4~3月

品種 : 04 乳用
1: 黒毛 2: 褐毛 3: その他 4: 乳用 5: 交雑

生産者 : 7001

全道平均事故率1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5.2	4.1	3.7	3.8	4.2	4.6	5.7	4.8	6.3	6.9	7.2	4.8	5.1
全道平均事故率2の①	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.3	1.0	0.9	0.9
全道平均事故率2の②	0ヶ月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢							
	0.8	0.9	0.8	1.0	0.8	0.7							

出力帳票 : 0: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)一覧表
 1: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)集計表
 2: 生まれ月別事故率2の①一覧表(月別、生産者別、事務委託先別)
 3: 生まれ月別肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)一覧表
 4: 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)＜グラフ＞
 5: 肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満)＜グラフ＞
 6: 肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)＜グラフ＞

F8: 出力 F9: 終了

2 事故率集計帳票の見方

(1) 事故率1

ア 定義

当該月における事故牛の頭数と、当該月に個体登録申込をした頭数を比較したものです。

イ 活用方法

大規模な乳用種や交雑種の素牛生産経営や一貫経営において、経営的指標の参考データとして活用していただくことを想定しています。

ウ 算出方法

$$\frac{\text{当該月の事故牛頭数（異動日基準）}}{\text{当該月の個体登録申込頭数（申込月日基準）}} \times 100 = \text{当該月の事故率}$$

エ 出力帳票（事故率1）の見方

事故率1に関する帳票は、「0：一覧表」、「1：集計表」、「4：グラフ」の3種類があります。それぞれ目的にあわせ、出力(印刷)し、活用してください。

オ <出力帳票> 0：肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）一覧表

生産者毎に月毎、四半期毎に事故率が算出されますので、どの生産者が、どの月に、またはどの四半期に事故率が高いのか等を確認することができます。

出力帳票例は、P8をご覧ください。

カ <出力帳票> 1：肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）集計表

事務委託先全体として、当該年における月毎、四半期毎の事故率と前年との比較ができるので、どの月に、またはどの四半期に事故率が高いかの傾向を確認することができます。

出力帳票例は、P9をご覧ください。

キ <出力帳票> 4：肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）グラフ

生産者に提供することを想定した帳票です。生産者個々の月別事故牛頭数や事故率のほか、「事務委託先の平均事故率」との比較や「全道の平均事故率」、との比較、さらには、自らの経営における前年との比較ができます。

出力帳票例は、P10をご覧ください。

ク 契約生産者に提供するグラフと活用例（事故率1）（P11参照）

○ 《出力帳票》 ○：肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）一覧表を選択すると、『① 令和○年度 肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）一覧表』が、エクセルで表示されます。

(例) 令和4年度・乳用種を選択した場合

① 令和04年度 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)一覧表 (乳用)												
※年度は1～12月又は4～3月で選択できます。												
※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録申し込み(以下、「申込」という。)をした子牛のうち、生後5ヶ月齢までに「へい死」及び「とう汰」したものをいう。												
※「事故率 1」とは、当該月における事故牛の頭数と当該月に申込をした頭数を比較したもの。												
※算出方法……当該月の事故牛頭数(異動日基準)を分子とし、当該月の申込頭数(申込月日基準)を分母とする。												
◀ 生産者別 ▶											(単位:頭、%)	
	1月			2月			3月			第1 四半期計		
事務委託先 生産者	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率
〇〇農業協同組合												
〇〇 〇〇	2	64	3.1	0	67	0.0	2	61	3.3	4	192	2.1
△△ △△	8	122	6.6	9	92	9.8	4	251	1.6	21	465	4.5
□□ □□	6	110	5.5	7	90	7.8	1	0	0.0	14	200	7.0
合計	16	296	5.4	16	249	6.4	7	312	2.2	39	857	4.6
	4月			5月			6月			第2 四半期計		
事務委託先 生産者	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率
〇〇農業協同組合												
〇〇 〇〇	6	94	6.4	1	84	1.2	1	84	1.2	8	262	3.1
△△ △△	12	140	8.6	15	86	17.4	6	226	2.7	33	452	7.3
□□ □□	1	212	0.5	4	0	0.0	1	208	0.5	6	420	1.4
合計	19	446	4.3	20	170	11.8	8	518	1.5	47	1,134	4.1
	7月			8月			9月			第3 四半期計		
事務委託先 生産者	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率
〇〇農業協同組合												
〇〇 〇〇	0	37	0.0	0	81	0.0	3	95	3.2	3	213	1.4
△△ △△	13	138	9.4	7	164	4.3	6	97	6.2	26	399	6.5
□□ □□	3	0	0.0	3	88	3.4	1	231	0.4	7	319	2.2
合計	16	175	9.1	10	333	3.0	10	423	2.4	36	931	3.9
	10月			11月			12月			第4 四半期計		
事務委託先 生産者	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率	事故頭数	申込頭数	事故率
〇〇農業協同組合												
〇〇 〇〇	0	63	0.0	2	91	2.2	2	122	1.6	4	276	1.4
△△ △△	6	142	4.2	13	170	7.6	12	119	10.1	31	431	7.2
□□ □□	4	94	4.3	1	0	0.0	3	115	2.6	8	209	3.8
合計	10	299	3.3	16	261	6.1	17	356	4.8	43	916	4.7
(単位:頭、%)												
合計			前年対比									
事故頭数	申込頭数	事故率	前年度 事故頭数	前年度 申込頭数	前年度 事故率	事故率 前年対比						
19	943	2.0	72	1,078	6.7	△ 4.7						
111	1,747	6.4	93	2,182	4.3	2.1						
35	1,148	3.0	46	1,241	3.7	△ 0.7						
165	3,838	4.3	211	4,501	4.7	△ 0.4						

- 《出力帳票》 1：肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）集計表を選択すると、『② 令和〇年度 肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）集計表』が、エクセルで表示されます。

(例) 令和4年度・乳用種を選択した場合

② 令和04年度 肉用子牛事故率1(生後6ヶ月齢未満)集計表
(乳用)

※年度は1～12月又は4～3月で選択できます。

※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録申し込み(以下、「申込」という。)をした子牛のうち、生後5ヶ月齢までに「へい死」及び「とう汰」したものをいう。

※「事故率 1」とは、当該月における事故牛の頭数と当該月に申込をした頭数を比較したもの。

※算出方法……当該月の事故牛頭数(異動日基準)を分子とし、当該月の申込頭数(申込月日基準)を分母とする。

事務委託先名: 〇〇農業協同組合

(単位:頭、%、ポイント)

	令和04年度			前年対比			
	事故頭数	申込頭数	事故率1	前年度 事故頭数	前年度 申込頭数	前年度 事故率1	事故率 前年比較
1月	16	296	5.4	29	282	10.3	△ 4.9
2月	16	249	6.4	17	390	4.4	2.1
3月	7	312	2.2	15	300	5.0	△ 2.8
第1四半期計	39	857	4.6	61	972	6.3	△ 1.7
4月	19	446	4.3	19	475	4.0	0.3
5月	20	170	11.8	15	316	4.7	7.0
6月	8	519	1.5	19	400	4.8	△ 3.2
第2四半期計	47	1,135	4.1	53	1,191	4.5	△ 0.3
7月	16	175	9.1	16	400	4.0	5.1
8月	10	333	3.0	13	379	3.4	△ 0.4
9月	10	425	2.4	8	424	1.9	0.5
第3四半期計	36	933	3.9	37	1,203	3.1	0.8
10月	10	300	3.3	14	376	3.7	△ 0.4
11月	16	262	6.1	24	364	6.6	△ 0.5
12月	17	357	4.8	22	395	5.6	△ 0.8
第4四半期計	43	919	4.7	60	1,135	5.3	△ 0.6
合計	165	3,844	4.3	211	4,501	4.7	△ 0.4

○ 出力帳票を選択する前に、【生産者】を選択する。

《出力帳票》 4：肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）〈グラフ〉を選択すると、『⑥ 令和〇年度 肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）』の帳票が、エクセルで表示されます。

(例) 令和4年度・乳用種を選択した場合

令和 05年 09月

⑥令和 04年度 肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）
(乳用)

生産者名 XXXXXXXXXX 様

月別一覧表 (単位:頭、%、ポイント)

年月	令和 04年度			前年対比			
	事故頭数	申込頭数	事故率1	前年度事故頭数	前年度申込頭数	前年度事故率1	事故率前年比較
04年04月	1	40	2.5	0	41	0.0	2.5
05月	0	36	0.0	0	37	0.0	0.0
06月	1	36	2.8	1	32	3.1	△ 0.3
07月	1	43	2.3	1	42	2.4	△ 0.1
08月	0	52	0.0	4	55	7.3	△ 7.3
09月	2	44	4.5	1	41	2.4	2.1
10月	4	33	12.1	0	45	0.0	12.1
11月	1	51	2.0	1	41	2.4	△ 0.4
12月	2	33	6.1	1	40	2.5	3.6
05年01月	1	31	3.2	0	34	0.0	3.2
02月	1	37	2.7	1	37	2.7	0.0
03月	2	45	4.4	1	53	1.9	2.5
合計	16	481	3.3	11	498	2.2	1.1

（ご利用にあたって）

※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録申し込み（以下、「申込」という。）をした子牛のうち、生後6ヶ月齢未満で「へい死」及び「とう汰」したものをいいます。

※「事故率 1」とは、当該月における事故牛の頭数と当該月に申込をした頭数を比較したものです。

（算出方法） $\frac{\text{当該月の事故牛頭数(異動日基準)}}{\text{当該月の申込頭数(申込月日基準)}} \times 100$

※年度は1～12月又は4～3月で選択できますので、事務委託先にお問い合わせください。

※本資料は(公社)北海道畜産物価格安定基金協会の保有データを基に作成したものです。

令和 04年度 事故率1

	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	合計
生産者	2.5	0.0	2.8	2.3	0.0	4.5	12.1	2.0	6.1	3.2	2.7	4.4	3.3
委託先平均	2.2	0.0	1.2	0.9	1.4	1.5	5.1	2.2	3.8	2.9	1.4	2.2	1.9
全道平均	5.2	4.1	3.7	3.8	4.2	4.6	5.7	4.8	6.3	6.9	7.2	4.8	5.1

○ 契約生産者に提供するグラフと活用例（事故率1）

大規模な乳用種や交雑種の素牛生産経営や一貫経営等において、経営改善の参考データとして活用していただくことを想定しています。

生産者用の印刷イメージ

令和 年 月

生産者名： 畜産 五郎 様

令和〇年度 肉用子牛事故率1（生後6ヶ月齢未満）
（品種名）

（ご利用にあたって）

※事故牛の定義
「事故牛」とは、生産者が個体登録申し込み（以下、「登録申込」という。）をした子牛のうち、生後6ヶ月齢未満で「へい死」及び「とう汰」したものを。

※「事故率1」とは
当該月における事故牛の頭数と、当該月に登録申込をした頭数を比較したもの。

〈算出方法〉

$$\frac{\text{当該月の事故牛頭数(異動日基準)}}{\text{当該月の登録申込頭数(申込月日基準)}} \times 100$$

月別一覧表 (単位:頭、%、ポイント)

年月	令和〇年度			前年対比			
	事故頭数	申込頭数	事故率1	前年度事故頭数	前年度申込頭数	前年度事故率1	事故率前年比較
P年4月	1	40	2.5	0	41	0.0	2.5
5月	0	36	0.0	0	37	0.0	0.0
6月	1	36	2.8	1	32	3.1	△ 0.3
7月	1	43	2.3	1	42	2.4	△ 0.1
8月	0	52	0.0	4	55	7.3	△ 7.3
9月	2	44	4.5	1	41	2.4	2.1
10月	4	33	12.1	0	45	0.0	12.1
11月	1	51	2.0	1	41	2.4	△ 0.5
12月	2	33	6.1	1	40	2.5	3.6
Q年1月	1	31	3.2	0	34	0.0	3.2
2月	1	37	2.7	1	37	2.7	0.0
3月	2	45	4.4	1	53	1.9	2.6
合計	16	481	3.3	11	498	2.2	1.1

〇〇年度 事故率1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生産者	2.5	0.0	2.8	2.3	0.0	4.5	12.1	2.0	6.1	3.2	2.7	4.4	3.3
委託先平均	2.2	0.0	1.2	0.9	1.4	1.5	5.1	2.2	3.8	2.9	1.4	2.2	1.9
全道平均	5.2	4.1	3.7	3.8	4.2	4.6	5.7	4.8	6.3	6.9	7.2	4.8	5.1

この月の事故率は全道および委託先平均よりも極端に高いのはなぜ

通年では委託先より事故率が高い要因は何か

《チェックポイント》

- ※ 密飼(みつがい)は風邪など呼吸器系の疾病の蔓延につながることから極力避ける。
- ※ 餌槽(しそう)の管理は適切か？特に夏場などは唾液や水分が腐敗を招くことから残餌の掃除などには十分注意すること。
- ※ 自動哺育による疾病の管理は適切か？

11

(2) 事故率2の①

ア 定義

当該月における事故牛の頭数と、当該月に飼養されている0ヶ月齢から5ヶ月齢までの個体登録申込頭数を比較したものです。

イ 活用方法

和牛繁殖・育成経営等において、季節的要因等に対応した飼養管理技術の指標として活用していただくことを想定しています。

ウ 算出方法

$$\frac{\text{当該月の事故牛頭数（異動日基準）}}{\text{当該月に飼養されている0ヶ月齢から5ヶ月齢の登録申込頭数の合計（注）}} \times 100 = \text{当該月の事故率}$$

（注）生まれ月別に整理した登録申込頭数データに基づき、各生まれ月の期首（月初）頭数を合計した数値です。ただし、当該月に6ヶ月齢に達する生まれ月の頭数（ア）と当該月に生まれた頭数（イ）については、次により算出された数値（平均飼養頭数）をもって計算上の「期首頭数」としています。

（ア）の期首頭数＋（イ）の登録申込頭数）÷2＝平均飼養頭数

なお、分子は分母で計算上使用する当該月での事故牛頭数（異動日基準）を用いて算出しています。

○ 例：7月の事故率算出（P14参照）

$$\frac{1\sim7\text{月生まれの事故牛頭数} \times 1}{1\sim7\text{月生まれの7月での飼養頭数} \times 2} \times 100 = 7\text{月の事故率}$$

※1 当該月（7月）の事故牛頭数（異動日基準）を分子とする。

（ア）の期首頭数 （イ）の登録申込頭数

※2（1月生まれの期首頭数＋7月生まれの申込頭数）÷2＋1～5月齢までの期首頭数

エ 出力帳票（事故率2の①）の見方

事故率2の①に関する帳票は、「2：一覧表」、「5：グラフ」の2種類があります。それぞれ目的にあわせ、出力（印刷）し、活用してください。

オ 《出力帳票》 2：生まれ月別事故率2の①一覧表（月別、生産者別、事務委託先別）の見方

各月生まれの牛が6ヶ月齢未満※の間で何月にへい死及びとう汰されたかを集計し、その月の事故率を算出しているため、何月に事故率が高いか生産者別に確認することができます。（表の一番右側で確認）

※ 月の最初と最後では約1ヶ月の差があるため、7ヶ月分を集計しています。
出力帳票例はP13を、算出方法の解説はP14をご覧ください。

カ 《出力帳票》 5：肉用子牛事故率2の①（生後6ヶ月齢未満）グラフ

生産者に提供することを想定した帳票です。生産者個々の事故牛頭数や事故率のほか、「事務委託先の平均事故率」との比較や「全道の平均事故率」、との比較、さらには、自らの経営における前年との比較ができます。

出力帳票例は、P15をご覧ください。

キ 契約生産者に提供するグラフと活用例（事故率2の①）（P16参照）

○ 《出力帳票》 2：生まれ月別事故率2の①一覧表（月別、生産者別、事務委託先別）を選択すると、『⑦ 令和〇年度生まれ月別肉用子牛事故率2の①（生後6ヶ月齢未満）一覧表』が、エクセルで表示されます。

（例）令和4年度・乳用種を選択した場合

⑦ 令和 04年度 生まれ月別肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満) 一覧表																	
(乳用)																	
※年度は1～12月又は4～3月で選択できます。																	
※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録申し込み(以下、「申込」という。)をした子牛のうち、生後5ヶ月齢までに「へい死」及び「とう汰」したものをいう。																	
※「事故率 2の①」とは当該月における事故牛頭数と当該月に飼養されている6ヶ月齢未満の申込頭数を比較したもの。																	
※算出方法……当該月の事故牛頭数(異動日基準)を分子とし、当該月に飼養されている0ヶ月齢から5ヶ月齢の頭数の合計(注)を分母とする。																	
(注) 当該月における、各生れつき別の子牛群の「期首頭数」の合計をいう。ただし、「当該月中に6ヶ月齢に達する群」(①)と「当該月中に生まれた群」(②)については、次により算出された数値(平均飼養頭数)をもって計算上の「期首頭数」とみなす。																	
(①の期首頭数+②の申込頭数)÷2=平均飼養頭数																	
事務委託先名:〇〇農業協同組合																	
令和 04年1月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												1月の事故率			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	147	2	145	0	145	2	143	3	140	0	140	2	138	4	1,039	14	1.3
〇〇 〇〇	52	0	52	1	51	0	51	0	51	0	51	0	51	0	532	3	0.6
合計	199	2	197	1	196	2	194	3	191	0	191	2	189	4	1,571	17	1.1
令和 04年2月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												2月の事故率			
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	176	1	175	3	172	1	171	2	169	1	168	4	164	2	996	3	0.3
〇〇 〇〇	55	0	55	0	55	2	53	1	52	0	52	0	52	0	540	2	0.4
合計	231	1	230	3	227	3	224	3	221	1	220	4	216	2	1,536	5	0.3
令和 04年3月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												3月の事故率			
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	123	2	121	1	120	5	115	5	110	0	110	0	110	0	971	12	1.2
〇〇 〇〇	47	0	47	0	47	0	47	0	47	2	45	0	45	0	529	1	0.2
合計	170	2	168	1	167	5	162	5	157	2	155	0	155	0	1,500	13	0.9
令和 04年4月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												4月の事故率			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	144	1	143	1	142	2	140	2	138	0	138	0	138	0	933	7	0.8
〇〇 〇〇	41	1	40	0	40	0	40	0	40	1	39	1	38	0	520	5	1.0
合計	185	2	183	1	182	2	180	2	178	1	177	1	176	0	1,453	12	0.8
令和 04年5月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												5月の事故率			
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	168	1	167	0	167	3	164	2	162	1	161	3	158	0	916	12	1.3
〇〇 〇〇	63	1	62	1	61	1	60	0	60	1	59	0	59	0	542	3	0.6
合計	231	2	229	1	228	4	224	2	222	2	220	3	217	0	1,458	15	1.0
令和 04年6月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												6月の事故率			
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	147	2	145	1	144	1	143	1	142	0	142	3	139	0	892	13	1.5
〇〇 〇〇	59	0	59	0	59	2	57	0	57	0	57	0	57	1	533	3	0.6
合計	206	2	204	1	203	3	200	1	199	0	199	3	196	1	1,425	16	1.1
令和 04年7月生れの子牛																	
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0～5ヶ月の事故牛												7月の事故率			
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	飼養頭数	事故頭数	事故率						
△△ △△	161	0	161	0	161	4	157	1	156	2	154	2	152	0	880	14	1.6
〇〇 〇〇	67	0	67	1	66	1	65	0	65	0	65	0	65	0	318	3	0.9
合計	228	0	228	1	227	5	222	1	221	2	219	2	217	0	1,198	17	1.4
年事故率																	
生産者	1月～12月の事故率																
	飼養頭数	事故頭数	事故率														
△△ △△	10,967	122	1.1														
〇〇 〇〇	6,448	38	0.6														
合計	17,415	160	0.9														

○ 算出方法の解説 (例：7月の事故率算出)

⑦ 令和04年度 生まれ月別肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満)一覧表

(乳用)

事務委託先名:〇〇農業協同組合

令和04年1月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	147	2	145	0	145	2	143	3	140	0	140	2	138	4	

1月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
1,039	14	1.3

令和04年2月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	176	1	175	3	172	1	171	2	169	1	168	4	164	2	

2月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
996	3	0.3

令和04年3月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	123	2	121	1	120	5	115	5	110	0	110	0	110	0	

3月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
971	12	1.2

令和04年4月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	144	1	143	1	142	2	140	2	138	0	138	0	138	0	

4月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
933	7	0.8

令和04年5月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	168	1	167	0	167	3	164	2	162	1	161	3	158	0	

5月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
916	12	1.3

令和04年6月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	147	2	145	1	144	1	143	1	142	0	142	3	139	0	

6月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
892	13	1.5

令和04年7月生れの子牛

生産者	申込頭数 (出生頭数)	0~5ヶ月の事故牛													
		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月	
		事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	期首頭数	事故頭数	
△△ △△	161	0	161	0	161	4	157	1	156	2	154	2	152	0	

7月の事故率		
飼養頭数	事故頭数	事故率
880	14	1.6

※ 事故頭数は、月の最初と最後では約1ヶ月の差があるため、7ヶ月分を集計しています。

7月事故率	事故頭数	4 + 4 + 0 + 2 + 3 + 1 + 0 = 14	
	期首頭数	申込頭数	(2月生+3月生+4月生+5月生+6月生)
	飼養頭数	{ (138+161) ÷ 2 } + (168+110+140+167+145) = 880	$\frac{14}{880} = 1.6$

○ 出力帳票を選択する前に、【生産者】を選択する。

《出力帳票》 5：肉用子牛事故率2の①（生後6ヶ月齢未満）〈グラフ〉を選択すると、『⑨ 令和〇年度 肉用子牛事故率2の①（生後6ヶ月齢未満）』の帳票が、エクセルで、表示されます。

(例) 令和4年度・乳用種を選択した場合

令和 05年09月

⑨令和 04年度 肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満) 生産者名： XXXXXXXXXX 様
(乳用)

月別一覧表 (単位:頭、%、ポイント)

年月	令和 04年度			前年対比			
	飼養頭数	事故頭数	事故率 2の①	前年度 飼養 頭数	前年度 事故 頭数	前年度 事故率 2の①	事故率 前年 比較
04年4月	243	1	0.4	236	0	0.0	0.4
5月	239	1	0.4	235	0	0.0	0.4
6月	234	0	0.0	231	2	0.9	△ 0.9
7月	246	1	0.4	232	1	0.4	△ 0.0
8月	256	1	0.4	240	4	1.7	△ 1.3
9月	251	2	0.8	244	0	0.0	0.8
10月	247	3	1.2	247	1	0.4	0.8
11月	251	3	1.2	251	1	0.4	0.8
12月	249	0	0.0	257	0	0.0	0.0
05年1月	239	2	0.8	253	0	0.0	0.8
2月	230	1	0.4	245	1	0.4	0.0
3月	228	1	0.4	242	1	0.4	0.0
合計	2,913	16	0.5	2,913	11	0.4	0.2

(ご利用にあたって)
 ※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録
 申し込み(以下、「申込」という。)をした子牛のうち、
 生後6ヶ月齢未満で「へい死」及び「とう汰」したもの
 をいいます。
 ※「事故率 2の①」とは当該月における事故牛頭数と
 当該月に飼養されている6ヶ月齢未満の申込頭数
 を比較したものです。
 (算出方法) 当該月の事故牛頭数(異動日基準)
 当該月に飼養されている ×100
 0ヶ月齢から5ヶ月齢の頭数の合計(注)
 (注)当該月における、各生れ月別の子牛群の「期首頭数」
 の合計をいう。ただし、「当該月中に6ヶ月齢に達する群」(①)
 と「当該月中に生まれた群」(②)については、次により算出
 された数値(平均飼養頭数)をもって計算上の「期首頭数」
 とみなす。
 (①の期首頭数+②の申込頭数)÷2=平均飼養頭数
 ※年度は1～12月又は4～3月で選択できますので、事務
 委託先にお問い合わせください。
 ※本資料は(公社)北海道畜産物価格安定基金協会の
 保有データを基に作成したものです。

令和 04年度 肉用子牛事故率2の①

	04年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	05年1月	2月	3月	合計
生産者	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.8	1.2	1.2	0.0	0.8	0.4	0.4	0.5
委託先平均	0.2	0.2	0.0	0.5	0.2	0.3	0.6	0.5	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3
全道平均	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.3	1.0	0.9	0.9

○ 契約生産者に提供するグラフと活用例（事故率2の①）

和牛繁殖・育成経営等において、季節的要因等に対応した飼養管理技術の改善として活用していただくことを想定しています。

生産者用の印刷イメージ
令和 年 月

令和〇年度 肉用子牛事故率2の①(生後6ヶ月齢未満)
(品種名)
生産者名 : 畜産 五郎 様

〈ご利用にあたって〉

※事故牛の定義
「事故牛」とは、生産者が個体登録申し込み(以下、「登録申込」という。)をした子牛のうち、生後6ヶ月齢未満で「へい死」及び「どう汰」したものの。

※「事故率2の①」とは
当該月における事故牛頭数と、当該月に飼養されている6ヶ月齢未満の登録申込頭数を比較したものの。

〈算出方法〉

$$\frac{\text{当該月の事故牛頭数(異動日基準)} \times 100}{\text{当該月に飼養されている0ヶ月齢から5ヶ月齢の頭数の合計(注)}}$$
(注) 当該月における、各生まれ月別の子牛群の「期首頭数」の合計をいう。ただし、「当該月中に6ヶ月齢に達する群」①と「当該月中に生まれた群」②については、次により算出された数値(平均飼養頭数)をもって計算上の「期首頭数」とみなす。

$$\frac{\text{①の期首頭数} + \text{②の登録申込頭数}}{2} = \text{平均飼養頭数}$$

月別一覧表 (単位:頭、%、ポイント)

年月	令和〇年度			前年対比			
	飼養頭数	事故頭数	事故率2の①	前年度飼養頭数	前年度頭数	前年度事故率2の①	事故率前年比較
P年4月	243	1	0.4	236	0	0.0	0.4
5月	239	1	0.4	235	0	0.0	0.4
6月	234	0	0.0	231	2	0.9	△ 0.9
7月	246	1	0.4	232	1	0.4	△ 0.0
8月	256	1	0.4	240	4	1.7	△ 1.3
9月	251	2	0.8	244	0	0.0	0.8
10月	247	3	1.2	247	1	0.4	0.8
11月	251	3	1.2	251	1	0.4	0.8
12月	249	0	0.0	257	0	0.0	0.0
Q年1月	239	2	0.8	253	0	0.0	0.8
2月	230	1	0.4	245	1	0.4	0.0
3月	228	1	0.4	242	1	0.4	0.0
合計	2,913	16	0.5	2,913	11	0.4	0.2

令和〇年度 事故率 2の①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生産者	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.8	1.2	1.2	0.0	0.8	0.4	0.4	0.5
委託先平均	0.2	0.2	0.0	0.5	0.2	0.3	0.6	0.5	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3
全道平均	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.3	1.0	0.9	0.9

季節ごとの飼養管理方法の分析が必要

通年では全道平均より事故率が低いのは何故か

《チェックポイント》

- ※ 防寒対策のためカーフジャケット、保温装置などは利用しているか？
- ※ 初乳は適切に給与されているか？
- ※ 母牛へのワクチンは管理基準に基づき適切に投与しているか？
- ※ ステージ毎の代用乳・人工乳の給与はマニュアルどおりか？
- ※ 餌槽(しそう)の管理は適切か？特に夏場などは唾液や水分が腐敗を招くことから残餌の掃除などには十分注意すること。

(3) 事故率2の②

ア 定義

同じ生まれ月の子牛群ごとに、0ヶ月齢から5ヶ月齢の各月齢（注）における、事故牛頭数と個体登録申込済み飼養頭数を比較したものです。

（注）生まれ月別の「月齢」は次のとおりとなります。

《（例）4月生まれの子牛群の場合》

例えば4月1日生まれの子牛の0ヶ月齢の期間は4月1日～30日、4月30日生まれの子牛では4月30日～5月29日となりますので、4月生まれの子牛が0ヶ月齢である期間は4月1日～5月29日と幅のあるものになります。他の月齢についても同様です。

イ 活用方法

和牛繁殖・育成経営等において、生まれ月別・月齢ステージ別のきめ細かい飼養管理技術の指標として活用していただくことを想定しています。

ウ 算出方法

$$\frac{\text{当該月齢における事故牛頭数}}{\text{当該月齢における登録申込済み飼養頭数（注）}} \times 100 = \text{生まれ月別・月齢別事故率}$$

（注）1～5月齢においては、前月齢までの事故頭数を控除して算出した頭数。

《生まれ月ごとの集計》

月齢にかかわらず、年間における生まれ月別の事故状況の把握が可能となります。（帳票におけるよこ集計）

《月齢別の年間集計》

生まれ月にかかわらず、年間における0ヶ月齢から5ヶ月齢の各月齢ステージ別の事故状況の把握が可能となります。（帳票におけるたて集計）

エ 出力帳票（事故率2の②）の見方

事故率2の②に関する帳票は、「3：一覧表」、「6：グラフ」の2種類があります。それぞれ目的にあわせ、出力（印刷）し、活用してください。

オ 《出力帳票》 3：生まれ月別肉用子牛事故率2の②（生後6ヶ月齢未満）一覧表の見方

同じ生れ月の子牛群ごとに0カ月齢から5ヶ月齢の各月齢における事故牛頭数（異動日基準）を登録申込済み飼養頭数（期首頭数）と比較することができます。出力帳票例は、P18をご覧ください。

カ 《出力帳票》 6：肉用子牛事故率2の②（生後6ヶ月齢未満）グラフ

生産者に提供することを想定した帳票です。生産者個々の事故牛頭数や事故率のほか、「事務委託先の平均事故率」との比較や「全道の平均事故率」、との比較、さらには、自らの経営における前年との比較ができます。

出力帳票例は、P19をご覧ください。

キ 契約生産者に提供するグラフと活用例（事故率2の②）（P20参照）

○ 《出力帳票》 3：生まれ月別肉用子牛事故率2の②（生後6ヶ月齢未満）一覧表
 を選択すると、『⑩令和〇年度生まれ月別肉用子牛事故率2の②（生後6ヶ月齢未満）
 一覧表』が、エクセルで表示されます。

(例) 令和4年度・乳用種を選択した場合

⑩ 令和04年度 生まれ月別肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満) 一覧表																					
(乳用)																					
※年度は1～12月又は4～3月で選択できます。																					
※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録申し込み(以下、「申込」という。)をした子牛のうち、生後5ヶ月齢までに「へい死」及び「どう汰」したものをいう。																					
※「事故率 2の②」とは、同じ生れ月の子牛群ごとに0ヶ月齢から5ヶ月齢の各月齢における、事故牛頭数と申込済み飼養頭数を比較したものを。																					
※算出方法……当該月齢での事故牛頭数(異動日基準)を分子とし、当該月での飼養頭数(期首頭数)を分母とする。																					
事務委託先名: ○○農業協同組合																					
令和04年1月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	147	2	1.4	145	0	0.0	145	2	1.4	143	3	2.1	140	0	0.0	140	2	1.4	9	6.1	
合計	147	2	1.4	145	0	0.0	145	2	1.4	143	3	2.1	140	0	0.0	140	2	1.4	9	6.1	
令和04年2月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	176	1	0.6	175	3	1.7	172	1	0.6	171	2	1.2	169	1	0.6	168	4	2.4	12	6.8	
合計	176	1	0.6	175	3	1.7	172	1	0.6	171	2	1.2	169	1	0.6	168	4	2.4	12	6.8	
令和04年3月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	123	2	1.6	121	1	0.8	120	5	4.2	115	5	4.3	110	0	0.0	110	0	0.0	13	10.6	
合計	123	2	1.6	121	1	0.8	120	5	4.2	115	5	4.3	110	0	0.0	110	0	0.0	13	10.6	
令和04年4月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	144	1	0.7	143	1	0.7	142	2	1.4	140	2	1.4	138	0	0.0	138	0	0.0	6	4.2	
合計	144	1	0.7	143	1	0.7	142	2	1.4	140	2	1.4	138	0	0.0	138	0	0.0	6	4.2	
令和04年10月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	132	1	0.8	131	1	0.8	130	1	0.8	129	0	0.0	129	3	2.3	126	4	3.2	10	7.6	
合計	132	1	0.8	131	1	0.8	130	1	0.8	129	0	0.0	129	3	2.3	126	4	3.2	10	7.6	
令和04年11月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	132	2	1.5	130	2	1.5	128	2	1.6	126	0	0.0	126	1	0.8	125	1	0.8	8	6.1	
合計	132	2	1.5	130	2	1.5	128	2	1.6	126	0	0.0	126	1	0.8	125	1	0.8	8	6.1	
令和04年12月生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	128	0	0.0	128	0	0.0	128	1	0.8	127	1	0.8	126	0	0.0	126	0	0.0	2	1.6	
合計	128	0	0.0	128	0	0.0	128	1	0.8	127	1	0.8	126	0	0.0	126	0	0.0	2	1.6	
令和04年度生れの子牛																					
生産者	申込頭数 (出生頭数)	0ヶ月齢 の事故牛			1ヶ月齢 の事故牛			2ヶ月齢 の事故牛			3ヶ月齢 の事故牛			4ヶ月齢 の事故牛			5ヶ月齢 の事故牛			6ヶ月合計	
		事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	期首頭数	事故頭数	事故率	事故頭数	事故率	
△△△△	1,756	16	0.9	1,740	12	0.7	1,728	25	1.4	1,703	24	1.4	1,679	10	0.6	1,669	22	1.3	109	6.2	
合計	1,756	16	0.9	1,740	12	0.7	1,728	25	1.4	1,703	24	1.4	1,679	10	0.6	1,669	22	1.3	109	6.2	

○ 出力帳票を選択する前に、【生産者】を選択する。

《出力帳票》 6：肉用子牛事故率2の②（生後6ヶ月齢未満）〈グラフ〉を選択すると、『⑫ 令和〇年度 肉用子牛事故率2の①（生後6ヶ月齢未満）』の帳票が、エクセルで、表示されます。

(例) 令和4年度・乳用種を選択した場合

令和 05年09月

⑫令和 04年度 肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満) 生産者名: XXXXXXXXXX 様

(乳用)

月齢別一覧表 (単位:頭、%、ポイント)

生まれ月	0ヶ月齢時		1ヶ月齢時		2ヶ月齢時		3ヶ月齢時		4ヶ月齢時		5ヶ月齢時		6ヶ月合計		前年対比									
	申込頭数 (出生頭数)	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	前年度 申込 頭数	前年度 事故 頭数	前年度 事故率 2の②	事故率 前年 比較					
04年4月	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	1	2.5	1	2.5	36	1	2.8	△ 0.3			
5月	31	1	3.2	30	0	0.0	30	0	0.0	30	0	0.0	30	0	0.0	1	3.2	35	2	5.7	△ 2.5			
6月	40	0	0.0	40	1	2.5	39	1	2.6	38	0	0.0	38	0	0.0	2	5.0	33	1	3.0	2.0			
7月	55	0	0.0	55	0	0.0	55	0	0.0	55	2	3.6	53	0	0.0	2	3.6	50	1	2.0	1.6			
8月	44	0	0.0	44	1	2.3	43	1	2.3	42	0	0.0	42	0	0.0	2	4.5	47	2	4.3	0.3			
9月	39	0	0.0	39	0	0.0	39	1	2.6	38	0	0.0	38	1	2.6	37	0	0.0	2	5.1	52	1	1.9	3.2
10月	44	0	0.0	44	2	4.5	42	0	0.0	42	0	0.0	42	0	0.0	2	4.5	35	1	2.9	1.7			
11月	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	0	0.0	43	0	0.0	0.0			
12月	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	0	0.0	36	0	0.0	0.0			
05年1月	42	1	2.4	41	0	0.0	41	1	2.4	40	0	0.0	40	0	0.0	2	4.8	36	1	2.8	2.0			
2月	39	1	2.6	38	0	0.0	38	1	2.6	37	0	0.0	37	0	0.0	2	5.1	43	1	2.3	2.8			
3月	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	0	0.0	49	0	0.0	0.0			
合計	482	3	0.6	479	4	0.8	475	5	1.1	470	2	0.4	468	1	0.2	467	1	0.2	16	3.3	495	11	2.2	1.1

(ご利用にあたって)

※事故牛の定義……「事故牛」とは生産者が個体登録申し込み(以下、「申込」という。)をした子牛のうち、生後6ヶ月齢未満で「へい死」及び「とう汰」したものをいいます。

※「事故率 2の②」とは、同じ生まれ月の子牛群ごとに0ヶ月齢から5ヶ月齢の各月齢における、事故牛頭数と申込済み飼養頭数を比較したものです。

(算出方法(生まれ月毎に計算))

$$\frac{\text{当該月齢での事故牛頭数(異動日基準)}}{\text{当該月齢での飼養頭数(期首頭数)}} \times 100$$

*1ヶ月齢以降は申込頭数から前月齢までの事故頭数を引いた頭数

※年度は1～12月又は4～3月で選択できますので、事務委託先にお問い合わせください。

※本資料は(公社)北海道畜産物価格安定基金協会の保有データを基に作成したものです。

令和04年度 肉用子牛事故率2の②(月齢別年間集計表)

	0ヶ月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢
生産者	0.6	0.8	1.1	0.4	0.2	0.2
委託先平均	0.5	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2
全道平均	1	1	1	1	1	1

○ 契約生産者に提供するグラフと活用例（事故率2の②）

和牛繁殖・育成経営等において、月齢ステージ(生まれ月毎)の細かい飼養管理技術の改善として活用していただくことを想定しています。

生産者用の印刷イメージ

令和 年 月

令和〇年度 肉用子牛事故率2の②(生後6ヶ月齢未満)

生産者名: 畜産 吾郎 様

(品種名)

月齢別一覧表

(単位:頭、%、ポイント)

生まれ月	申請頭数 (全生頭)	0ヶ月齢時			1ヶ月齢時			2ヶ月齢時			3ヶ月齢時			4ヶ月齢時			5ヶ月齢時			6ヶ月合計		前年対比			
		事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	期首頭数	事故頭数	事故率 2の②	前年度 申請 頭数	前年度 事故 頭数	前年度 事故率 2の②	事故率 前年 比較
P年4月	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	1	2.5	1	2.5	36	1	2.8	△ 0.3	
5月	31	1	3.2	30	0	0.0	30	0	0.0	30	0	0.0	30	0	0.0	30	0	0.0	1	3.2	35	2	5.7	△ 2.5	
6月	40	0	0.0	40	1	2.5	39	1	2.6	38	0	0.0	38	0	0.0	38	0	0.0	2	5.0	33	1	3.0	2.0	
7月	55	0	0.0	55	0	0.0	55	0	0.0	55	2	3.6	53	0	0.0	53	0	0.0	2	3.6	50	1	2.0	1.6	
8月	44	0	0.0	44	1	2.3	43	1	2.3	42	0	0.0	42	0	0.0	42	0	0.0	2	4.5	47	2	4.3	0.3	
9月	39	0	0.0	39	0	0.0	39	1	2.6	38	0	0.0	38	1	2.6	37	0	0.0	2	5.1	52	1	1.9	3.2	
10月	44	0	0.0	44	2	4.5	42	0	0.0	42	0	0.0	42	0	0.0	42	0	0.0	2	4.5	35	1	2.9	1.7	
11月	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	0	0.0	43	0	0.0	0.0	
12月	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	29	0	0.0	0	0.0	36	0	0.0	0.0	
Q年1月	42	1	2.4	41	0	0.0	41	1	2.4	40	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	2	4.8	36	1	2.8	2.0	
2月	39	1	2.6	38	0	0.0	38	1	2.6	37	0	0.0	37	0	0.0	37	0	0.0	2	5.1	43	1	2.3	2.8	
3月	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	39	0	0.0	0	0.0	49	0	0.0	0.0	
合計	482	3	0.6	479	4	0.8	475	5	1.1	470	2	0.4	468	1	0.2	467	1	0.2	16	3.3	495	11	2.2	1.1	

〈ご利用にあたって〉

※事故牛の定義

「事故牛」とは、生産者が個体登録申し込み(以下、「登録申込」という。)をした子牛のうち、生後6ヶ月齢未満で「へい死」及び「とう汰」したもの。

※「事故率2の②」とは

同じ生まれ月の子牛を対象として、0ヶ月齢から5ヶ月齢の、各月齢における事故牛頭数と、飼数を比較したもの。

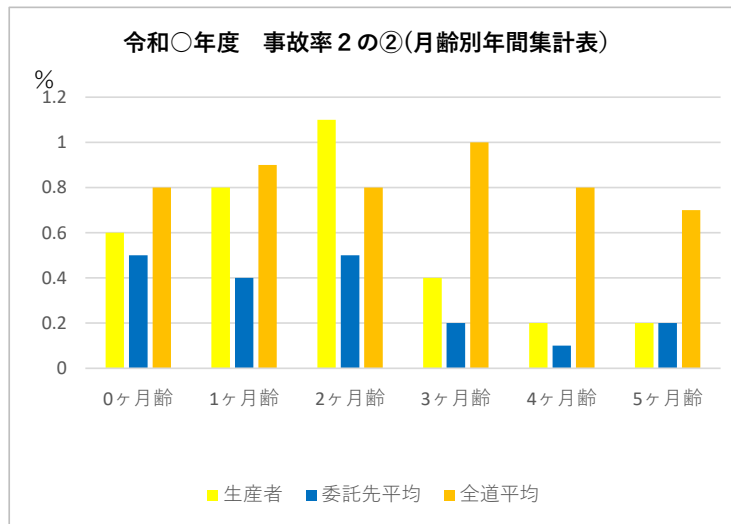
〈算出方法〉

当該月の事故牛頭数(異動日基準) × 100

当該月に飼養されている頭数 *

0ヶ月齢から5ヶ月齢の頭数の合計(注)

* 1ヶ月齢以降は申込頭数から前月までの事故頭数を引いた頭数



	0ヶ月齢	1ヶ月齢	2ヶ月齢	3ヶ月齢	4ヶ月齢	5ヶ月齢
生産者	0.6	0.8	1.1	0.4	0.2	0.2
委託先平均	0.5	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2
全道平均	0.8	0.9	0.8	1.0	0.8	0.7

特に事故率の高い月齢の飼養管理方法の分析が必要

〈チェックポイント〉

- ※ 初乳の給与については適切に管理されているか？
- ※ ステージ毎の代用乳・人工乳の給与はマニュアルどおりか？